

各学校に3部配布しています。

学校用（校長先生・教頭先生）1部、PTA役員用2部



市P連ニュース



令和4年度 No.4 (3/8発行)
千葉市PTA連絡協議会

令和5年新年情報交換会を3年振りに現地開催



令和5年1月28日(土)に、東京ベイ幕張ホールにて、令和5年新年情報交換会を開催しました。来賓として、千葉市長の神谷俊一様、千葉市教育委員会教育長の磯野和美様をお迎えし、参加人数は170余名でした。なお、例年行ってきた懇親会は、コロナ禍のために実施せず、代わりに特別講演会を開催しました。

特別講演会の講師は、公認心理師でNPO法人千葉子ども家庭支援センター理事長の杉本景子様でした。演題は「HSC理解を通して 子ども達の

サポートを考える ～5人に1人はHSC～」です。

HSCとは、High Sensitive Childの略で、とても思慮深く控え目で、人の気持ちや刺激に敏感な子どものことです。HSCは、穏やかでモラルが保たれている環境を求めます。学校では、外向的・活動的で堂々と大きな声で意見を言える子どもが評価されがちですが、HSCは積極性がないように見えても、思慮深く控えめに協調性や共感性を発揮して、クラスに貢献している子どもです。動物の世界にも同じ割合でHSCが存在することは、HSCが社会にとって不可欠な存在であることを意味しています。したがって、HSCは、良さを「伸ばす」ことが大切で、この子どもたちの良さがより一層理解され、発揮できる環境があれば、HSCは社会の幸福に計り知れない貢献をすることができるといってお話をいただきました。

その後、杉本様と神谷市長、千葉市養護教育センター所長の久保木修様によるスペシャル・トーク(鼎談)が行われ、参加者にとって意義深い時間となりました。

情報交換会では、各テーブル10名前後、17テーブルに分かれて情報交換を行いました。最初に「コロナ禍でのPTA活動の工夫」について情報を交換しました。次いで「これからのPTA活動の進め方」について意見を交換しました。情報交換会の詳しい内容については、4ページに報告書の抜粋を載せてありますので、そちらをご覧ください。白熱した中にも有意義な話し合いの時間が持たれました。



QRコードから特別講演の動画を視聴することができます。



第4回理事会議事録

令和5年2月8日(水)

14:00～15:30

千葉中央 C.C 5F 美術視聴覚室

1. 開会のことば (宮崎副会長)

2. 会長あいさつ (三谷会長) ※要約

先日の新年情報交換会に参加いただきありがとうございます。今回は懇親会をなくし、講演会と情報交換会の構成で開催いたしました。また、動画配信もさせていただき、会員335人の方が視聴しています。各校の先生やPTA代表が、このように集まって情報交換をしていることを会員の皆様に周知できてよかったです。また、後日、参加された校長先生から講師のNPOへ問い合わせがあったり、市P連未加入校の先生からの問い合わせがあったり、教育長や市長が別の席で、市P連の講演会にふれてくれたりと、反響も大きかったです。

コロナは下火になってきていますが、インフルエンザが流行して学級閉鎖になっている学校もあるので、今後も気をつけながら活動を進めていきたいと思っております。

3. 報告

(1) 会務報告 ※理事会資料参照

追加→2/18 花見川区P連理事会は中止、3/6 稲毛区P連理事会(江波戸)

3/22 学校教育審議会(江波戸)、4/1 緑区P連理事会

(2) 各区P連報告(区P会長)※要約

中央区・・・1/14 役員会・理事会の実施。新たなブロック割を決定、6ブロックから3ブロックに変更。

連絡のやり取りをメールから、ラインワークスやグーグルに変更予定。

若葉区・・・次年度の役員選考の話し合いを実施。

緑区・・・11/20 区Pのバレーボール大会実施。

2/4 役員会・理事会の実施。来年度のバレーボール大会に未加盟校の参加要望があり、合同チームでの参加について継続審議。区P総会は、書面開催に決定。

稲毛区・・・12/10 各単Pが集まり臨時会長会議を実施。退会や休会の要望があり、今後区P連の業務の効率化を目指していく。またブロック割も再度検討していく。

美浜区・・・特に活動なし。

花見川区・・・2/18 理事会開催予定でしたが、インフルエンザのため中止。

(3) 常置委員会報告

・総務委員会・・・新年情報交換会に出席

・事業委員会・・・新年情報交換会に出席。

・広報委員会・・・新年情報交換会に出席。市P連ちば82号がまもなく校了をむかえる。

(4) 関ブロ会長・事務局長会議

・関ブロ千葉大会：鶴沢小学校が学校代表として発表。会場は全て千葉市内で実施。

(5) 選考委員会進捗状況

・選考については、難航している区Pはありますが何とか選出できる方向で動いている。

・選考委員長は若葉区佐々木会長、副委員長は稲毛区井口会長。

(6) その他

4. 議事

(1) 新年情報交換会反省について(※報告書資料参照)

- ・参加者は73校176名。
- ・来賓挨拶から記念講演の間に15分のタイムラグができてしまった。配信時間が決まっておき変更することができなかった。
- ・今後も動画配信をしていただけるとありがたい。
- ・情報交換会での時間配分がうまくいかず、学校側のご意見を聞けなかった。
- ・講演会の時間が短すぎて、内容が専門的になり過ぎてしまった。もう少し、保護者目線での話がよかった。
- ・コロナ禍になり、これからのPTA活動は3年前に戻すのではなく、活動をスリム化していくという学校があった。会議や打ち合わせはラインの使用、連絡手段としてすぐ〜るを使用する学校が多かった。ただし、すぐ〜るに関しては、学校のご厚意で使用できているので、ラインワークスやまめーるなど、PTA独自の連絡システムを使用するのが望ましい。

(2) その他

- 区Pバレーボール大会について

→バレーボールの運営や審判をスポーツ振興会に頼む場合は、教頭先生から育成委員会を通して連絡を取るようにするとよい。

合同チームについては、過去強い人たちだけ集めてチームを作った事例があったので、各区P連でルールを作ってから、詳細を市Pに提言してほしい。それらのルールを吸い上げてから市Pで継続審議していく。

5. 情報交換

- 市Pで加入している団体保険に、単Pとして保険に入ることはできないのかという問い合わせについて
→市Pという加入者が多い団体だから、充実した補償内容で割引ができています。単Pではここまでの補償内容は難しい
- 安全互助会の保険と小中学生総合保障制度を混同している。
→安全互助会はPTA活動中の大人に対する保険で、小中学生総合保障制度は子どもの日常生活に対する保険。
- PTAバレー大会で、安全互助会の保険と1日保険に入るメリットは何か？
→参加校の中に、安全互助会の保険に入っていない学校があるため。
- 単P会長が2名になることは問題ないのか？
→会則を変更すれば問題ないが、役割分担を明確にするほうがよいのではないかと。

6. 連絡

(1) 次回理事会案内 4/12(水) 14:00～ 千葉市中央C. C. 5階 講習室2

(2) 市P連ちば82号の配布について 幹事校と単Pに配布のお手紙を送付予定。

7. 閉会の言葉 (江波戸副会長)

【出席者】三谷会長、江波戸副会長、伊藤副会長、宮崎副会長、平井副会長、土田会計、内山書記、
花見川区:石川会長、高田理事 稲毛区:井口会長 中央区:川上理事 美浜区:根岸会長、塚田さん
若葉区:佐々木会長、入江さん 緑 区:水谷さん、齋藤さん
前田副事業委員長、金子総務委員長、南波広報委員長、廣森事務局長、今井事務局員

★★ 令和5年新年情報交換会 報告書からの抜粋 ★★

(1) コロナ禍でのPTA活動の工夫について

- ・集まっての話し合いが縮小したので、LINE を活用して情報交換を行った。バザーは実施できていないので、代わりにPTA主催のお楽しみ会を実施した。
- ・3年間、ほとんど活動ができていなかった。そのために、経験者がいなくなり、PTA活動をどう進めていくのかが課題になっている。できるだけ経験者に話をしてもらい 教えてもらうようにしている。
- ・最初の2年間はほとんど何もできなかった。昨年からは少しずつ行事が復活しているが、バザーはまだ開催できていない。今年はマラソン大会が復活し、コロナ禍前に戻りつつある。
- ・バザーは労力が大変なので、コロナ禍を契機に廃止することにしたが、バザーを開催してほしいという声が多くあり、結局、復活させることになった。
- ・コロナ禍でバザーは中止したが、代わりにゲーム大会を実施した。今年度はゲーム大会に加えて物品販売を復活させて、とてもよい雰囲気で開催できた。
- ・LINE ワークスを活用してオンラインでPTA活動を行っている。負担軽減になっている。また、LINE ワークスだと引き継ぎ等も簡単にできて導入してよかった。

(2) これからのPTA活動の進め方について

- ・PTA自体は必要であるが、時代に合わせた形が必要である。みんながやりたくなるように、楽しんでできることが重要である。
- ・PTA改革に取り組んだ学校の話聞きに行って、自分達の活動の参考になっている。現状、対面での会議が毎週あるが、共働き家庭が増えているので負担になってきている。今後、改革していきたい。
- ・保護者が若返り、これまでの保護者の考え方のギャップを感じる。若い世代にPTAの有益性をどう理解してもらうかがポイントになる。
- ・コロナ禍で行事がなくなった今が、組織の再編成や行事の見直しのチャンスである。価値のある活動なのか、子ども達や保護者、教員が望んでいる活動なのかを再吟味していく必要がある。
- ・父親の在宅勤務も増えているので、父親が参加できるような仕組みを考えていく必要がある。
- ・コロナ禍で学校の活動や行事もスリム化しており、PTA活動もスリム化していく必要がある。会議は、WEB やSNSを併用して省力化していく。



千葉県PTA連絡協議会のホームページにアクセスしてみませんか。

QRコード



《 市P連のホームページをぜひご覧ください 》

市P連ではホームページの充実に努めています。市P連加入に関する情報や開催された行事のニュース、お知らせ、これまでに発行した市P連の広報紙、単Pの活動に役立つ様々な情報、新規会員に向けたPTAの紹介動画など盛り沢山のコンテンツです。まだご覧になっていない方がおいででしたら、ぜひ一度のぞいてみてください。パソコンのブラウザ（Microsoft Edge や Google Chrome）で「千葉県PTA連絡協議会」と検索していただくか、左記の QR コードをスマホで読み取っていただければつながります。